



【表1】 第31回2級試験および過去試験累計 結果概要		
	第31回試験	第1~31回試験累計
受験者数	329人	11,113人
合格者数	60人	2,997人
合格率	18.2%	27.0%

【表2】 第31回2級試験 年代別構成			
年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	21人	3人	14.3%
30歳以上39歳以下	93人	9人	9.7%
40歳以上49歳以下	94人	18人	19.1%
50歳以上59歳以下	104人	27人	26.0%
60歳以上	17人	3人	17.6%

【表3】 第31回2級試験 勤務先別構成			
勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	133人	26人	19.5%
医療関連企業	54人	7人	13.0%
医薬品製造・卸売	63人	13人	20.6%
医療機器製造・販売	13人	2人	15.4%
金融機関	32人	6人	18.8%
大学生・短大生	3人	0人	0.0%
その他	31人	6人	19.4%

【表4】 第48回3級試験および過去試験累計 結果概要		
	第48回試験	第1~48回試験累計
受験者数	935人	65,078人
合格者数	427人	27,444人
合格率	45.7%	42.2%

【表5】 第48回3級試験 年代別構成			
年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	223人	73人	32.7%
30歳以上39歳以下	223人	103人	46.2%
40歳以上49歳以下	275人	132人	48.0%
50歳以上59歳以下	189人	101人	53.4%
60歳以上	25人	18人	72.0%

【表6】 第48回3級試験 勤務先別構成			
勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	299人	156人	52.2%
医療関連企業	177人	70人	39.5%
医薬品製造・卸売	241人	96人	39.8%
医療機器製造・販売	32人	20人	62.5%
金融機関	76人	40人	52.6%
大学生・短大生	14人	3人	21.4%
その他	96人	42人	43.8%

※2級および3級試験における勤務先別の「金融機関」は第3回(第6回)から、「医薬品製造・卸売」は第16回(第23回)から、「医療機器製造・販売」は第21回(第30回)から追加された(カッコ内は3級試験の試験回)

※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する

2級試験の合格率上がらず
20代、30代が苦戦

受験者329人のうち60人が合格、合格率は18・2%(前回18・7%)となり、第29回から3回続けて20%に届かない結果となった。年代別の合格率を見ると、50代が26・0%(前回15・6%)となっており、他の年代が20%に届かない

なか、非常に高い数字となった。受験者数、合格者数とも50代が最多となっており、50代の活躍が目立ったと言える。その逆に30代の合格率は9・7%(前回15・2%)で、合格者数も1桁と厳しい結果となった。勤務先別では、受験者数、合格者数ともに病医院勤務者が最多。合格率で見ると医薬品製造・卸売が

受験者935人のうち427人が合格、合格率は45・7%(前回49・4%)となった。合格率が40%を超えるのは3回連続となり、2級試験とは逆に高い数字となっている。年代別に見ると、受験者、合格者とも40代が最多。30代、50代と合わせた3世代で、合格者数がそれぞれ100名を超えた。合

格率では年代が上がるほど高くなる傾向が見られ、数は多くないが60歳以上では72・0%(前回58・3%)と高い数字を記録している。勤務先別では前回と同様に受験者数・合格者数ともに病医院が最多。合格率も52・2%(前回62・2%)と前回よりは下がったものの高い数字となった。病院経営を取り巻く環境が厳しさを増す今こそ、医療経営士の出番である。3級を合格された方にはぜひ協会に登録いただき、さらに2級を目指し、医療経営士として活躍されることを期待したい。

一般社団法人日本医療経営実践協会は7月14日(火)、第31回「医療経営士2級」および第48回「医療経営士3級」資格認定試験(ともに6月14日(日)実施)の合格者を発表した。2級試験(全国12会場)は329人が受験し60人が合格。3級試験(全国24会場)は935人が受験し427人が合格した。

20・6%(前回12・5%)と唯一の20%超えとなり、病医院の19・5%を上回りトップとなった。

3級試験合格率が40%超
病医院勤務者が押し上げ

格率では年代が上がるほど高くなる傾向が見られ、数は多くないが60歳以上では72・0%(前回58・3%)と高い数字を記録している。勤務先別では前回と同様に受験者数・合格者数ともに病医院が最多。合格率も52・2%(前回62・2%)と前回よりは下がったものの高い数字となった。病院経営を取り巻く環境が厳しさを増す今こそ、医療経営士の出番である。3級を合格された方にはぜひ協会に登録いただき、さらに2級を目指し、医療経営士として活躍されることを期待したい。

6月14日(日)実施
「医療経営士」
資格認定試験の
合格者を発表

3級試験の累計受験者数が
6万5000人を突破!

医療経営士 3級 2級 資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **10月18日**

2026年

受験エントリー期間 **7月31日金~8月27日木**

受験料支払締切日 **8月28日金**

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。
詳しくは協会ホームページをご確認ください。

	第49回「医療経営士3級」	第32回「医療経営士2級」
受験料 ※手数料別途	9,100円(税込)	16,000円(税込) 両分野受験者 14,000円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の 制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、 本協会正会員
試験会場	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇 ※2025年3月現在	

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめて申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります。

受験エントリー

**7月31日金
開始!!**

同僚や
お知り合いの方に
ご紹介ください

T O P I C S 埼玉研究会と沖縄県自主勉強会がコラボ

自主研究会同士の交流により
研究会活動の活性化を促す

今年5月にキックオフセミナーを開催したばかりの医療経営士埼玉研究会と、コロナ以降活動が停滞していた医療経営士沖縄県自主勉強会。両研究会が開催するコラボ研究会について、埼玉研究会の塩寺明日香氏（以下、塩寺）と、一般社団法人TMG本部経営支援部経営支援課と沖縄県自主勉強会の岡本健太氏（社会医療法人敬愛会ながみ西病院事務部長）に話を聞いた。

SNSのDMから

地域を超えたコラボが実現

塩寺明日香氏（以下、塩寺）…
埼玉研究会はまだ設立したばかりで、まずはメンバー募集に向けInstagramのアカウントをつくり情報発信を始めました。その中で「医療経営士」で検索したところ、沖縄県自主勉強会のアカウントを見つけ、「まずはご挨拶を」と思ってDMをお送りしたところ、岡本さんから「コラボをしましょう」というお返事をいただいて、実現に向けて進めていくことになりました。

岡本健太氏（以下、岡本）…

コロナ禍で研究会が開催できなくなり、自分自身業務が忙しくなったこともあってなかなか動けず、沖縄県自主勉強会としての活動は休止状態でした。Instagramのアカウントは自分が運用していましたが、こちらも手つかずになっていました。

そこに埼玉研究会からご連絡をいただいて、これは良い機会になるのではないかと思います。自分たちの活動に発破をかける意味もあり、コラボの提案をさせていただきました。

塩寺…埼玉研究会のメンバーのなかに以前沖縄の病院に勤めていた方がいて、地域によるさまざまな違いを伺っていました。異なる地域だからこそ情報交換をすれば面白いですし、視点が違うからこそお互いにヒントが得られるのではないかと考えています。

今回、社会医療法人敬愛会が行っている「事務職の総合職採用」のお話を聞かせてほしいとご相談したところ、「その総合職採用で入職した若手職員が発表できるかも」とご提案いただき、それが実現することになりました。そうした若い方の生の声を聞けるのは非常に貴重な機会ですし、大変ありがたいと思っています。近隣のライバル病院同

士だと話づらい部分もあるのですが、地域が離れているからこそできるものがあると感じています。

岡本…実際に近隣の病院とのコラボに対しては、院内からネガティブな反応を受けることもあります。まずは今回のような形で県外の病院との実績を先に作り、「県外とも連携して、沖縄県全体を盛り上げていきましょう」というアプローチをとる方が、上層部にも理解してもらいやすいのかなと考えています。

塩寺…埼玉研究会からは、亀山裕史代表（医療法人社団東光会戸田中央産院事務長）が登壇し、「少子化時代の産院の経営戦略」についてお話をさせていただきました。地域に選ばれた産院となるためにこれまで行ってきた、具体的な取り組みを紹介してもらう予定です。

研究会活動の継続に向け
声を掛け合うことが大事

岡本…塩寺さんからご連絡をいただいたときに感じたのですが、立ち上げの時期は大変であると同時に、非常に熱量があります。しかし難しいのは継続していくことで、これはどの自主研究会でも同じ問題を抱えているのではないかと思います。

全国にはいくつも自主研究会があつてそれぞれ活動を行っています。お互いにこうしてコラボをしたり、どちらかが声を掛け合ったりすることで、少し下火になりかけたところにまた火をつけることができる。その意味で今回のつながりは、すごく良かったなと感じています。このような形で、まずは第1回目のコラボを成功させ、今後も続けていければいいなと思っています。

塩寺…まだ思い付きの段階ではありますが、「人事交流のようなことができたら面白いですね」というお話も出ています。自主研究会だからこそ、自由にブレインストーミングができると思いますので、そうした新しい発想でディスカッションを重ねていきたいです。

医療経営士埼玉研究会×医療経営士沖縄県自主勉強会
コラボ勉強会

【日時】2026年7月31日(金)18:30～20:00

【会場】おもと天久の杜ANNEX

※現地開催のみ。オンライン配信はございません。

【参加費】無料 ※終了後、同会場にて懇親会を開催予定(2,000円)

【主催】医療経営士埼玉研究会・
医療経営士沖縄県自主勉強会

お申し込みはコチラから→



最新医療経営

最新情報を踏まえ新たな病院像を描く
「経営の時代」の羅針盤PHASE3
フェイズ・スリー8月号
好評
発売中

特集

リハビリテーション統括調整室設置
「攻めの予防医療」に貢献するリハビリ専門職

近年、リハビリテーション専門職の活躍の場は、医療や介護にとどまらず教育や司法の分野などに急速に拡大している。政府が推進する「攻めの予防医療」の柱の一つにもリハビリテーションが掲げられており、予防の面でも重要度が増しそうだ。日本慢性期医療協会の橋本康子会長は5月21日の記者会見において、厚生労働省が5月19日に省内に設置した「リハビリテーション統括調整室」に対して大きな期待を表明している。本特集では、リハビリテーション統括調整室長、リハビリ専門職3団体の会長にそれぞれインタビューを行った。

詳細・ご購入は
コチラ

みやぎ仙台ネットワーク第34回研究会 「なかじま5S」が示す 組織と地域医療のあり方



6月19日(金)、東北支部・みやぎ仙台ネットワークは第34回研究会をオンラインで開催した。講師に、社会医療法人康陽会中嶋病院(仙台市宮城野区)の法人管理室長兼事務長である竹下浩二氏を迎え、「中嶋病院が大切にす

る5つのキーワード～『なかじま5S』で求められる医療をめざす～」をテーマに行われた。

目標達成のための組織づくりを考える なかから生まれた「なかじま5S」

社会医療法人康陽会中嶋病院グループは仙台市宮城野区を中心に病院や各種介護施設19事業所を展開、70年以上にわたって地域に医療・介護を提供してきた。「なかじま5S」は、同グループが長年にわたり培ってきた経営方針・行動指針を新たに整理してまとめたもの。目標を達成するためにどのような組織でありたいかを考えるなかから生まれたもので、下記の5つのSから構成されている。

- ① Strong(強み)
- ② Simple(簡単)
- ③ Systematic(組織的)
- ④ Seamless(つなぎ目のない連携)
- ⑤ Sustainable(持続可能)

第1のS「Strong」は、自らの強みを明確にし、それを徹底的に伸ばしていくという考え方。同病院では、断らない救急医療、整形外科手術、医療と介護を一体的に提供できるグループ機能を強みと位置付け、地域のニーズに応える体制を築いてきた。

第2のS「Simple」は、組織の目標を誰にでも理解できるようにすること。複雑な目標は職員の行動につながりにくいため、病床稼働率や救急受入件数など、わかりやすく共有しやすい指標を用いることで、組織全体が同じ方向に向かって行動できるようにしている。

第3のS「Systematic」は、個人の力ではなく組織の力で患者を支えるという考え方。患者のニーズが多様化する中、1つの職種や1つの部署による対応にはどうしても限界がある。そのため同院では、多職種や多施設が参加する退院調整会議を毎日開催し、患者の退院後までを見据えた支援体制を構築している。

第4のS「Seamless」は、「患者にとっては病院で過ごす期間よりも、その後の在宅や介護施設での生活の期間の方が圧倒的に長い」という認識に基づくもの。急性期医療だけで完結するのではなく、回復期、介護施設、在宅医療、さらには地域の他施設とも連携しながら、患者や利用者の生活を切れ目なく支えていくことを重視している。

第5のS「Sustainable」は、時代の変化に応じて必要な機能を柔軟に取り入れながら、地域に求められる医療と介護を継続して提供していくという考え方。救急医療や在宅医療、リハビリテーション、介護施設の整備などにいち早く取り組み、長年にわたり地域の要請に応えながら発展してきた中嶋病院グループにとって重要なキーワードだ。

シンプルなワードだからこそ スピード感を持って伝える

竹下氏は「なかじま5S」について、「具体的な手法を示すものではなく、変化する時代のなかで地域から求められる医療と介護を持続的に提供していくための基本姿勢を表したものだ」とし、「この考え方は決して特別なものではなく、組織として当たり前のことをわかりやすく共有し、継続して実践することこそが重

要である」と強調。今後もこの「なかじま5S」を全職員の共通の価値観として共有しながら、地域に根差した医療と介護の提供を続けていく強い決意を示した。

講演後の質疑応答では参加者から多数の質問が上がった。「当法人でも職員に向けて理念の重要性を伝えているが、なかなか浸透させるのが難しい。どのように取り組まれているのか」という問いに対し、竹下氏は「当グループにおいても、以前は職員同士顔の見える関係性があったので自然に浸透していたものが、規模が大きくなり職員が増えてくると、どうしてもスピード感を持って共有することが難しくなる。だからこそ『なかじま5S』としてシンプルでわかりやすいワードにまとめることが有効だと考えている」と述べた。

開催後のアンケートでは「シンプルにわかりやすい方針と時代の流れに沿った行動でとても勉強になった」「目標はシンプルに、目標が複雑だと頭に入らない。大変実感した。難しいことはできないがこれなら実践できそう」といった声が聞かれるなど、実践につながるわかりやすさが好評を得た研究会となった。

今回は8月14日(金)、オンラインで開催する。

地域内でシームレスな連携を行うことで患者・利用者の安心な生活を支えている



事務局 掲 示 板

知っておきたい「医学の基礎知識」を
DVDとテキストで効果的に習得できる
「医療経営士」基礎力UP講座

当協会では医療経営士として知っておきたい医学の基礎知識を効果的に学べる「基礎力UP講座」を開講しています。テキストとDVDを通して事務職や他業種の方が、医療専

門職との連携やコミュニケーションにおいて必要不可欠な医学知識や医療用語を平易かつ効果的に学習できる仕組みになっています。詳細はホームページにてご確認ください。

【医療経営士「基礎力UP講座」】

<http://www.jmmpa.jp/support/tsushin/up/>



登録内容を変更する際のお手続きは
「マイページ」からの申請が便利です

住所・勤務先・氏名など、申請時の内容から変更が生じた場合は、登録情報の変更手続きが必要となります。協会ホームページより「登録変更申請書」をダウンロードのうえ、必要事項を記載してメールまたは郵送にてご送付ください。

「マイページ」をお持ちの方はページ内の登録内容変更から手続きが可能です。「マイページ」を初めて使用する場合にはアカウントとパスワードのご登録が必要となります。ご不明な点は、本協会事務局までお問い合わせください。

【登録内容変更のご案内】

<https://www.jmmpa.jp/support/cat/>

PICK UP研究会

北海道支部

日本医療経営実践協会北海道支部主催2026シンポジウム
「地域医療の視点から考える今後の医療経営とは」

今年で3回目を数える北海道支部主催のシンポジウム。今回は「地域医療の視点から考える今後の医療経営とは」をテーマに開催する。物価高騰や急速な人口減少といった課題に直面する地域医療機関の経営最適化と今後の医療経営について概説するとともに、現場目線での具体的な対応事例や効果的な戦略、持続可能性への展望を探索。また、経営と地域医療の両面から見た医療の質向上や患者満足度向上の可能性についても検討していく。

第一部では特別講演として、厚生労働省標準型電子カルテ検討WG構成員を務める社会医療法人高橋病院理事長の高橋肇氏が登壇し、医療・介護DXに関する内容を中心に話をいただく。第二部では昨年の「全国医療経営士実践研究大会」神奈川大会の演題発表で北海道支部から登壇した2名の医療経営士によるフィードバックプレゼンが行われる。

【開催概要】

■日 時

2026年8月9日(日)13:00～15:00

※終了後、情報交換会(希望者のみ)を開催予定

■会 場

札幌パークホテル2階およびZoom配信

■参加費

医療経営士・介護福祉経営士 1,500円/一般 2,500円

■プログラム

第一部 特別講演

「地域医療提供体制構築のために必須な情報連携～国の求める医療・介護DXを中心に～」
高橋 肇 氏(社会医療法人高橋病院理事長)

第二部 道内医療経営士の2025全国大会

発表事例フィードバックプレゼン

●和泉貴之氏(医療法人仁友会仁友会本部企画課主任/医療経営士3級)
「現状分析から経営改善へ

～透析送迎サービスがもたらした成果と学び～」*

●千葉瑛斗氏(医療法人溪仁会定山溪病院経営管理部/医療経営士3級)
「まちの保健室を起点とした地域活動と外来受診の分析

から新たな地域戦略を！」*

※タイトルは第14回全国医療経営実践研究大会神奈川大会発表時のもの

■お問い合わせ

日本医療経営実践協会北海道支部事務局

担当: 森(医療法人 仁友会北彩都病院内)

0166-26-6411(内線219)

kouchi.mori@jinyukai.jp

お申込みは
こちらのQRコードから ▶



日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
8月1日(土)	東海	第3回人生100年時代健康とお金	三田寛子 氏(岡村記念病院 心不全認定看護師) 羽田 裕 氏(東京海上日動火災保険株式会社代理店、東京海上日動あんしん生命保険株式会社代理店、有限会社久保田事務所 AFP認定者)
8月9日(日)	北海道	日本医療経営実践協会北海道支部主催2026シンポジウム 「地域医療の視点から考える今後の医療経営とは」	高橋 肇 氏(社会医療法人高橋病院理事長) 和泉貴之 氏(医療法人仁友会法人本部企画課) 千葉瑛斗 氏(医療法人溪仁会定山溪病院経営管理部)
8月14日(金)	東北	第35回みやぎ仙台ネットワーク 「私たちが創る、私たちの新理念～偶然の出会いから始まった、管理者全員による“必然”のワークショップ～」	佐藤あづさ 氏(一般財団法人やまとコミュニティホスピタル 光ヶ丘スベルマン病院看護部長) 山口聖子 氏(株式会社SYシンフォニー、看護組織改善コンサルタント) 金子高志 氏(医療法人社団ひなたひなた在宅クリニック総務・連携担当)
8月20日(木)	関東	神奈川研究会「合格者のつどい」 協会および医療経営士についての説明 ほか	荒井ゆき 氏(株式会社メディリリーフ代表取締役) ほか
9月18日(金)	関東	第64回神奈川研究会 「診療所と病院の理想のパートナーシップとは? (仮)」	※参加者同士のディスカッション形式で開催

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

第15回

全国医療経営士実践研究大会

東京大会

開催日

2026年
11月21日(土)
22日(日)

大会
テーマ

地域とともに歩む社会性豊かな
医療の実現

—— 病院経営が危機的状況にある今こそ、医療経営士は一致団結し、使命感を持って地域医療の崩壊をくい止めよう！

会場

ステーションコンファレンス東京

演題発表および参加申込は
大会特設サイトから受付中



【お問い合わせ先】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 taikai@jmmpa.jp